

[校 報]

白 壁

[学校教育目標]

夢に向かって命を輝かせる子の育成

《「夢」つよい子・「和」やさしい子・「命」感じる子》

「赤い屋根と白い壁の学校」(創立 69 周年)

令和 5 年 (2023 年) 1 月 10 日 (火) 発行 [No. 1 1]

長浜市立長浜北小学校 TEL 62-1375 FAX 63-9926



あけまして おめでとうございます



謹んで新春のお慶びを申し上げます。保護者・地域の皆様には、旧年中は本校教育の推進に関わりまして多大なるご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

2023年(卯年)が皆様にとりまして、すばらしい一年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

本年も子どもたちの健やかな成長のため、どうぞお力添えいただきますようよろしくお願いいたします。

さて、2023年は卯年です。昔からうさぎは、月と縁があり「ツキ」を呼ぶ、ぴよんぴよん跳ねて飛躍や成長を遂げるなど、縁起の良い動物とされて多くの逸話にも出てきます。

また、逸話だけにとどまらず「うさぎ(兎)」を使った四字熟語もあります。例えば、次のようなものです。

- ① 鶯目兎耳(えんもくとじ): 鶯の目は遠くのことまで目ざとく見つけ、兎の耳はささいな音も聞きもらさないという意で、そんな耳と目を持った情報収集能力の高い人のこと。
- ② 烏飛兎走(うひとそう): 月日が慌ただしく過ぎていくこと。中国古代の言い伝えに太陽には烏が住み、月には兎が住んでいるとされていたので、太陽と月の動きを烏が飛び兎が走るさまに例えた言葉。
- ③ 飛兎竜文(ひとりゅうぶん): 人一倍才能のある子どものたとえ。「飛兎」「竜文」はともに、よく走る非常にすぐれた馬、駿馬の名前。それが転じて、俊童と言われていました。

子どもたちには、慌ただしい時間の流れの中でも、しっかりと目と耳で正しく物事を捉え、自分の可能性を多に発揮してほしいと期待しています。

「一年の計は元旦にあり」と言われます。年の始めにきちんとした計画を立て、それを実行することで、その一年が有意義な一年になるという格言です。この言葉は中国書籍の「月令広義」(げつれいこうぎ)からの引用とされ、四計のうちの一つです。

四計とは、「一日の計は晨(あした)にあり 一年の計は春(元旦)にあり 一生の計は勤にあり 一家の計は身にあり」とされ、充実した一日にするには朝が重要であり、充実した一年にするには春(元旦)が、充実した一生には勤勉が、充実した一家には健康な体が、それぞれ肝要であると説かれています。子どもたちには年の初めにあたり、節目・節目を大切に、しっかりと目標を持って、日々成長して行ってほしいと願っています。

今日から3学期が始まりました。今学期も下図の目標・子ども像をめざし邁進したいと考えます。6年生は48回登校。1~5年生は52回登校です。子どもたちには、毎日安全で健康的な生活を送る中で、しっかりとまとめをして次の学年・学校に繋いでほしいと願っております。保護者・地域の皆様におかれましては、3学期も子どもたちの健康や安全の見守りについて、お力添えいただきますようよろしくお願いいたします。

長浜北小学校 学校教育目標

夢に向かって命を輝かせる子の育成

長浜北小学校 学校教育目標

夢 つよい子

和 やさしい子

命 感じる子

知

学力向上

徳

生きる力を育む

体

仲間づくり

体

体力向上

*学力の向上、社会性の涵養、安全・健康の維持向上を通して、調和のとれた「人」づくり

*夢と希望を育み 郷土を思う心を育て 地域社会に貢献したいと願う「人」づくり

10年後、20年後の地域の未来を担う「人」を育てる

長浜北小学校の

めざす子ども像

- 「夢」(つよい子): 知(かしこく) 学力
- 「和」(やさしい子): 徳(やさしく) 社会性
- 「命」(感じる子): 体(たくましく) 健康安全

1月の行事予定 と 3学期の主な行事予定

1月10日(火)	3学期始業式(3校時で下校)
1月11日(水)	給食開始、発育測定、全校4校時
1月12日(木)	全校5校時
1月16日(月)	PTAあいさつ運動 委員会⑥
1月20日(金)	西中学校入学説明会 
1月23日(月)	学校給食週間(～27日) 
1月27日(金)	学習参観② リサイクル交換会(学習参観終了後)
2月 1日(水)	全校朝会①
2月 2日(木)	令和5年度入学説明会(保護者対象)
2月 3日(金)	6年学びの実験室: バイオ大学
2月 6日(月)	6年学びの実験室: バイオ大学
2月 8日(水)	6年学びの実験室: バイオ大学
2月 9日(木)	6年学びの実験室: バイオ大学

2月13日(月)	委員会⑥
2月15日(水)	PTAあいさつ運動
2月17日(金)	学習参観日③、6年親子活動①②
2月28日(火)	6年生を送る会 
3月 6日(月)	委員会⑥
3月 8日(水)	町別児童会⑤
3月16日(木)	校友会入会式(卒業生: 1校時)
3月17日(金)	第69回 卒業証書授与式(午前)
3月23日(木)	給食最終日(5年生以下)
3月24日(金)	令和4年度 修了式(午前)
3月25日(土)	年度末・年度始めの休業 春休み(3/25～4/9)

*コロナ感染状況や大雪等の天候状況によりやむなく急遽変更することがございます。予めご了承願います。

基本的なことの積み重ねで 子どもの脳の成長を促す

・右の図は、もう十年以上前に話題になり、多方面でよく取り上げられた図です。基本的な学習に取り組むことで脳が活性化し、子どもの場合には、脳の成長を促すというものです。医学的な実験に基づいた事実なので今でもしばしば取り上げられています。また、最近では脳科学という言葉が耳にすることも多く、脳科学的な視点からも教育実践がなされています。

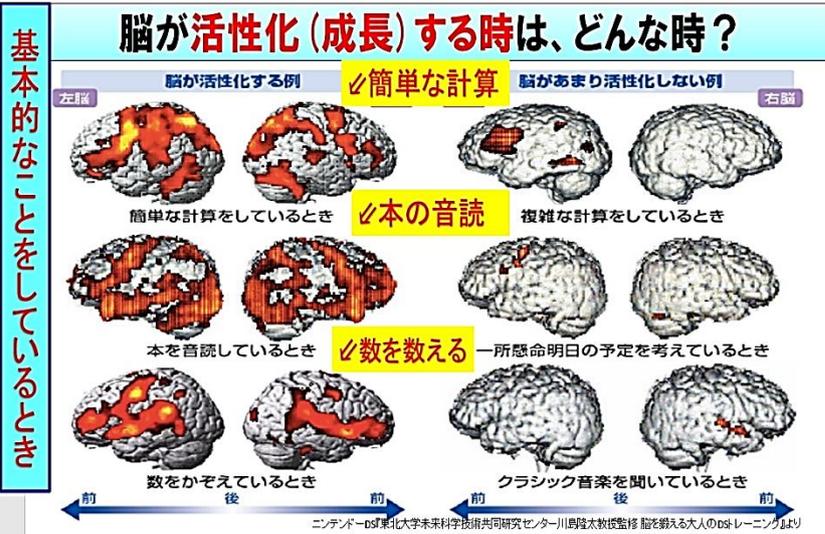
本校におきましては、基礎基本の習得から発展・探求への学習を展開しています。習得(インプット)と活用(アウトプット)の繰り返しの中で子どもたちに「学(ぶ)力」をつけたいと考えています。昔からの「読み」「書き」「計算」の大切さは、現在では医学・脳科学的にも証明されています。

①「読む」: 目・耳・脳で書いてあることを理解し、言葉と情報を獲得していくことです。

*スラスラ読めることは、新しい学力を獲得する第一条件です。
②「書く」: 新しく獲得した学力を定着させ、身につけることです。
*丁寧に書くことは、ミスなく確実に学力を習得することです。

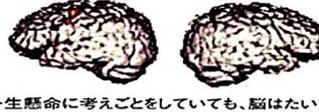
③「計算」: 特に、小学校の場合計算は算数の要です。計算は、いろいろな数を処理、操作していく中で(+、-、×、÷)、物事を分析する力(思考力)やそれらの1つ1つを組み合わせる総合していく力(認識能力) = 考える力を育てることです。

3学期も子どもたちが伸びるように、学力向上に力を注いでいきたいと考えています。何卒、ご理解、ご協力をお願いします。



読み、書き、計算で脳が本気(賢く)になる

読み・書き 計算で 脳が活性化する!

<p>手書きで漢字を書いているときの脳</p>  <p>パソコンではなく手書きで漢字を書くだけで、無意識のうちに脳の多くの部分が活性化します</p>	<p>単純な計算問題を速く解いているときの脳</p>  <p>答えがすぐにわかるかんたんな問題をスラスラ解くほうが、脳の多くの部分が活性化します</p>
<p>考えごとをしているときの脳</p>  <p>一生懸命に考えごとをしていても、脳はたいして働いていません</p>	<p>複雑な計算問題を解いているときの脳</p>  <p>難しい問題に必死に取り組んでも、脳はたいして働いていません</p>